

技術提案書に係る評価基準

業務名：令和8年度県土マネジメント部資材単価及び労務費調査業務

●配置予定技術者の経験及び能力等（技術点その1）

評価項目				評価基準	技術点		
					管理技術者	小計	合計
配置予定技術者の経験及び能力 ※1	業務執行技術力	資格・実績	技術者資格	技術者資格を次のとおり評価する。 ①技術士（総合技術監理部門（建設）） ①技術士（技術部門（建設部門）） ②R C C M(技術士「建設部門」の選択科目のいずれかと同等の専門技術部門に限る) ③上記①②以外	① 8  ② 4  ③ 0	8	21
			業務実績①	平成27年4月1日以降、本業務における公告日までに完了した同種業務の実績を次のとおり評価する。 （照査技術者としての実績は評価しない。）  同種業務A：「公共事業の積算に係る材料の単位あたりの価格調査」業務（※2） 同種業務B：「公共事業労務費調査」業務（※2）  ①同種業務Aかつ同種業務Bの実績がある（※3） ②同種業務Aまたは同種業務Bの実績がある	① 8 ② 4	8	
			業務実績②	平成27年4月1日以降、本業務における公告日までに完了した近畿地方整備局又は奈良県県土マネジメント部発注の下記業務実績の有無について、次のとおり評価する。 （照査技術者としての実績は評価しない。）  ①奈良県における業務実績あり ②上記①以外	① 5 ② 0	5	

- ※1 「配置予定技術者の経験及び能力」の状況等を明確に判断できる資料が添付されていない場合は、加点しない。
- ※2 国、地方公共団体、特殊法人等（公共事業の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成12年法律第127号）第2条第1項に規定する特殊法人等をいう。）又は公共法人（法人税法（昭和40年法律第34号）第2条第5項別表第一に掲げる法人をいう。）が発注した業務に限る。
- ※3 契約が異なる複数の業務の実績も可とする。

●業務の実施方針（技術点その2）

評価項目	評価の着目点		技術点		
		評価基準	評価点	小計	合計
実施方針・実施手順・実施体制・その他	実施方針	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	※※	6	50
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		4	
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。		4	
	実施体制	業務内容に適した実施体制となっている場合に優位に評価する。		8	
	その他	仕様書第2 1 に示す資材価格調査を適正に実施するうえでの着眼点及び、仕様書第3 5に記載する報告期限を遵守するための留意点について、具体的かつ的確に示されている場合に優位に評価する。		18	
		仕様書第2 2 ウ に示す一次審査を実施するうえでの着眼点について、具体的かつ的確に示されている場合に優位に評価する。		10	

※※の評価値は、審査員による5段階評価（100％・75％・50％・25％・0％）を行い、その平均点により算出する。このとき、小数第3位以下が生じた場合は、切り捨てにより小数第2位まで算出する。

合計	71
----	----

●総合評価の方法

■評価値の算出方法

評価値＝価格評価点＋技術評価点

□価格評価点の算出方法

入札価格に対する価格評価点は以下により算出し、上限は12点とする。（※）入札書比較価格・・・予定価格の消費税及び地方消費税抜きの金額  
価格評価点＝60×（1－入札価格／入札書比較価格（※））

□技術評価点の算出方法

技術評価点＝60×（技術評価の得点合計／技術評価の配点合計）

価格評価点および技術評価点は、小数第3位以下を切り捨てし、小数第2位まで算出する。